

空手と勉強 塾で

亀岡の2男性開校 「文武両道が必要」



勉強と空手を一つの教室で学べる場を開設したメンバーら (亀岡市下矢田町)

じみの男性2人が同市下矢田町に開校した。「今の社会では『文武両道』が求められている」との思いから、子どもたちに勉強で自ら考え学ぶ力を身に付け、空手では仲間と汗をかくことや礼節について学んでもらう。塾名は「Sky PUNCH」。塾長の小森太揮さん(34)と森智弘さん(34)は保育園からの同級生で、現在はそれぞれの会社を経営している。小森さんは6歳から空手を始め、学生時代は競技演げの毎日だったという。勉強する時間ではなく、「将来に一抹の不安を抱えていた」と振り返る。「今は一芸に秀でているだけでは駄目で、社会に出れば文武の両方が求められる」と感じ、森さんに声を掛けた。森さんは学生時代は勉強ばかりしていて「いつか子どもも教育に携わりたい」と考えていたという。空手道場だった建物を、鉄筋工事会社社長でスカイパンチの支配人も務める村田和久さん(51)から市内の経営者の協力も得て購入し、オープンした。教室は小学生と中学生が対象で、毎週水曜日の午後6時半から2時間行う。前半は森さんが勉強を、後半は小森さんが空手をそれぞれ教える。地元企業について知ってもらうため、事業者を招いた講義や工場見学なども構想しているという。

うに

る地域の「宝物」を網羅した事物を後世に引き継ぎたいという。

フォーラムのメンバー約30町内各地に足を運んで取多数の文献にも当たり、写撮影して編集した。東西南

5地域の200 次代へ

北と神吉の計5地域の約200の宝物を載せた。東では、終戦前の1945年6月に墜落した日本の戦闘機の航空兵を弔う慰霊碑を紹介。西の吉富地域にはかつて荘園があったことや、企業の集積が進んでいることを伝える。南ではクリシタン武将内藤シヨアンが治めた八木城や教育者八木龍三郎の私塾「興風義塾」について説明する。北では、人材育成に力を注いだ井上堰水や、キリスト教の伝道師でもあった井上が創立を主導した丹波第一基督教教会について紙幅を割く。神吉では、丹波霧を望める紅葉峠などに触れている。

フォーラム代表の芦田謙さん(78)は「作り始めた当初は数人で作業していたが、次第にコノウライナ優致

安産・無事成長・交通安全
延喜式内名神大社

大川神社

(0773) 82-0011 / ご祈祷要予約
舞鶴市大川169-1

小森さんは「勉強がスポーツかの2択ではなく、両道が世の常識になってほしい」、森さんは「地元や企業で活躍する子を育てられればうれしい」と意気込む。問い合わせは0771(29)0007。(南真臣)

家庭児童相談 7、11 日朝9時～正午と後1、4時、保健センター。18歳未満の子どもの生活習慣、しつけ、不登校、非行、虐待、その他子どもの発達や子育てで気になることなど。

常設相談 7～11日朝9時～正午と後1時～4時半、市役所。民事、家事、行政など。

消費生活相談 7～11日朝9時～正午と後1時～4時半、市役所。悪質

おことわり 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、催しが急に中止になることがあります。念のため、主催者に確認の上お出掛けください。